

ツンツン元気なおいしい葉ねぎをつくりましょう!

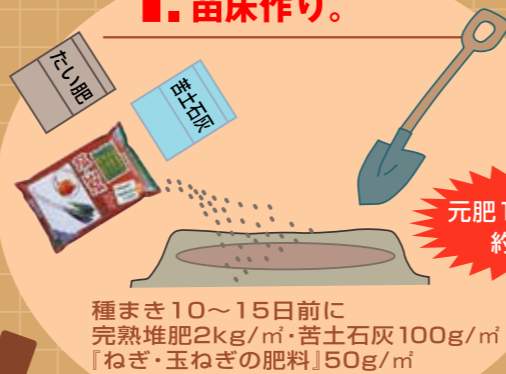
つくった人だけが
わかる喜びがある!

ここがポイント!

- ◎良質の堆肥でしっかり土づくりをする
- ◎畑は排水に気をつけ深く耕す
- ◎病害虫の防除は早めに
- ◎春まき苗は8月に干し苗に



1. 苗床作り。



種まき10~15日前に
完熟堆肥2kg/m²・苦土石灰100g/m²
「ねぎ・玉ねぎの肥料」50g/m²

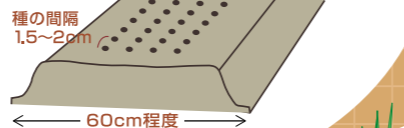
追肥1mあたり
約40g

元肥1mあたり
約50g

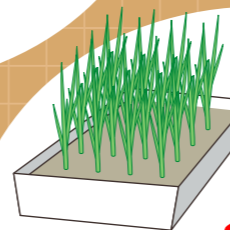
2. 苗作り(種まき)。

幅60cm・高さ10cm程度の畝を作ります。
種まき後は、種が隠れる程度に土をかけて
敷きわらか、寒冷紗をベタかけします。

敷きわらや寒冷紗は、
種まき後5~7日して
発芽が揃ったらとる。



種の間隔
1.5~2cm
60cm程度



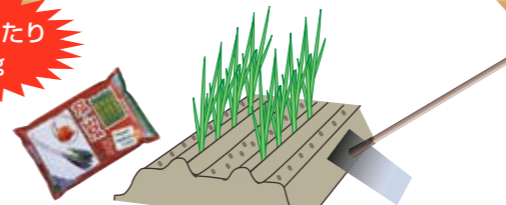
少量の苗なら、
プランターや
発泡スチロールを利用して
育苗すると楽です。

One Point!

春まきの場合、
地上部がタニの害にあたり、
高温で葉が硬くなるのを
防ぐために「干し苗」をします。
8月中旬に株を掘上げ、
束にして日干しにします。

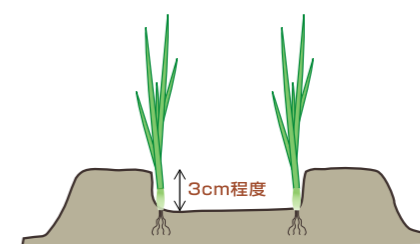
1.5kgで通常の堆肥の
15kg分の効果がある
「固形濃縮堆肥」がおすすめ。

6. 追肥・土寄せ。



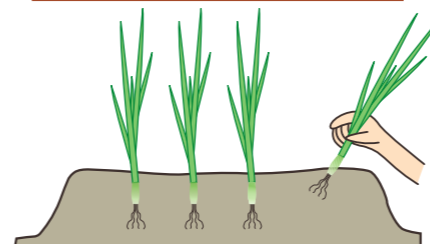
・10日程度で苗が根付いたら1回目の追肥(40g/m²)
・1ヶ月後、2回目の追肥(40g/m²)
・2回目の追肥の後、除草を兼ねて表面を
軽く耕し、株元へ土寄せをします

5. 植付け。



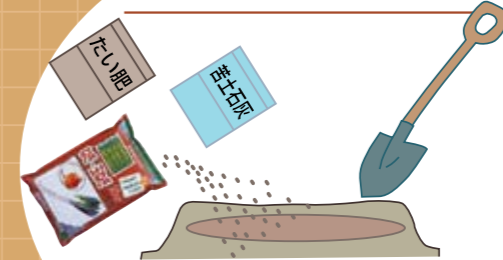
1ヶ所5~6本まとめて深さ3cm程度に
根が全て土に埋まるように植付けます。

7. 収穫。



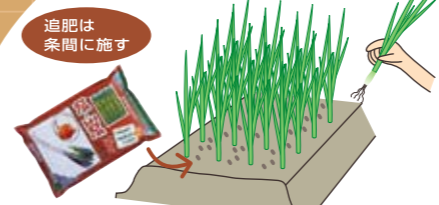
秋まきの場合、翌年2月下旬頃より
収穫開始です。
春まきの場合(干し苗も同じ)、
10月中旬頃からはなります。

4. 植付け(土作り)。



植付け10~15日前に
完熟堆肥2kg/m²・苦土石灰100g/m²
「ねぎ・玉ねぎの肥料」80g/m²

3. 間引き・追肥。



追肥は
条間に施す

本葉が1枚出たころ、混み過ぎた所を
間引いて株間を揃えます。
同時に「ねぎ・玉ねぎの肥料」を
条間に20g/m²施して土で覆います。

 朝日工業株式会社
<http://www.asahi-kg.co.jp>